



株式会社アウトテック松坂

本社所在地 / 刈谷市小垣江町御茶屋下62番地の1
業務内容 / 戸建住宅の屋根工事、サイディング工事、太陽光設置工事、樋工事、塗装工事
従業員数 / 13人(男性 6人・女性 7人)

Interview

社内外の女性チームで
建設業界に新風を巻き起こす



加藤精工株式会社

本社所在地 / 刈谷市半城土町生出104番地12
業務内容 / 自動車部品関連生産
従業員数 / 224人(男性 138人・女性 86人)

Interview

風通しの良い職場環境とサポートで
チャレンジできる会社

世の中に見つけてもらうには、自ら動いて発信すること!

穂谷さん…ありがとうございます。社員がモデルになり撮影したカレンダーを10年くらい作り続けています。弊社のことをもっと多くの方に知っていただきたいと思い、始めました。手に取った小学生に「将来ここで働きたい!」と言ってもらえた時はとても嬉しかったです。

Q 社員が映ったオリジナルカレンダーも素敵ですね!

穂谷さん…はい。高校のキャリア教育の講師や、インターンシップの受け入れを社員が頑張っています。企業合同説明会では、紙芝居で弊社の仕事を分かりやすく伝え注目を集めています。高校1年生の時にインターンで来た学生が、2年・3年と他社でのインターン体験を経て就職しました。また3年でインターンとして来た女子生徒も現場社員になりました。彼らが「どの会社よりも楽しかった」と弊社を選んでくれたことは、社員のやりがいや誇りになっています。総務の女性課長が部署の垣根を越えて目配りをして、新人の女性社員と直属の男性上司の間にあってアドバイスしてくれるのも助かっています。

Q 御社は求職者に選んでもらうための活動に力を入れているそうですね?

穂谷さんにお聞きします。

穂谷さん…建設業界の方々と「愛知ガテン女子推進委員会」を組織しています。これは建設業界で働く女性が集まって思いや情報を交換する他、作業着ファッションショーなどのイベントや、女性を採用した会社へのインタビューなどを行い、建設業界で女性がいきいきと働いている姿を知ってもらう活動です。ぜひやったら女性を採用できるか、他社からも相談がくるようになりました。

Q どのように発信に力を入れているのですか?

穂谷さん…建設業界の方々と「愛知ガテン女子推進委員会」を組織しています。これは建設業界で働く女性が集まって思いや情報を交換する他、作業着ファッションショーなどのイベントや、女性を採用した会社へのインタビューなどを行い、建設業界で女性がいきいきと働いている姿を知ってもらう活動です。ぜひやったら女性を採用できるか、他社からも相談がくるようになりました。

Q 女性社員でチームを作り取り組んでいると聞きました。

穂谷さんにお聞きします。

野村さん…いくつもありますが、私の場合は入社面接時に、幼稚園と小学1年生の子どもがいて休むことが多く、会社に迷惑をかける不安があると相談しました。するとすぐに検討してくださり、入社してみるとすでに在宅勤務やフレックス制度ができていて驚きました。今も在宅勤務を活用して働いています。

Q 具体的にどんな声が上がりましたか?

加藤さん…人材不足への対策です。もとは男性の多い職場でしたが、どうやらいろいろな人達と仕事ができるかな、と社員が考えてくれました。女性がどういったところで悩んでいるのかは私の思考の範囲を超えるので、素直に声を上げてもらうよう意識的に耳を傾け、上がった声には対策を考えて制度に反映してきました。

Q 女性社員が増えていったきっかけや社内の変化はありますか?

加藤さん…そうですね。弊社は「人が全て」と考えています。創業者の祖父は誰でも働きたい人を受け入れてきました。先代の父は雇用を守ることを大切にしてきました。3代目の私は職場環境の整備に、と時代に合わせた取組をしています。

Q 御社は昔から障がい者雇用など、多様な人が働く土壌があったと伺いました。

服部さん…男女の区別があまりなく、求めればチャレンジさせてもらえるところですね。「女性だからいいよ」と言われるのは、優しさかもしれないけれど、できるならやらせて欲しいなと思っています。私は品質管理の仕事をしていますが、打合せなどで客先に向くと「担当が女性なの?」と驚かれることもありました。工場では「何であなたにそんなこと言われなきゃならないの?」なんて言われたこともありましたが、今は皆に「成長したじゃん」と言ってもらえ、信頼関係ができました。乗り越えれば成長した自分がいるし、周りも変わっていくのを感じます。

Q 服部さんは主任ですね。どんなところに仕事のやりがいを感じますか?

服部さん…困っていることに上司が気づいてくれます。私の場合は、私の子どもが小学生の頃、朝に通学路に立って見守りをする旗当番がありました。数十分だけのことですが、始業に間に合わないで午前休を取っていました。上司に相談したところ、子どもの行事や介護などで2時間休むことができる「学習制度」を作ってくれました。他の社員も理解してくれて、「制度を使った方がいいよ」と声をかけてくれたり、旗当番をしている道を通って様子を見てくれることもあります。

Q 相談したタイミングで制度が検討されるのですか?



総務部 黒田さん

代表取締役 穂谷あかねさん

黒田さん…和気あいあいとチームで意見を出し合える雰囲気の良い会社だと伝えたいですね。

Q これから就職する人に伝えたい御社の魅力は?

黒田さん…上司に助けってもらいながら働いているので、そんなに大変な思いをせずに行けたと思います。私は就職する時に小学1年生と2歳前の双子の3人の子どもがいました。それまで家の中に閉じこもりがちだったので、外に出て仕事をしたいと思っていました。今は仕事と子育ての良いサイクルができています。

Q 子育てしながらのお仕事で大変だったことはありますか?

黒田さんにお聞きします。

穂谷さん…自分が動かないと世の中に見つけてもらえないからです。キャリア教育、カレンダー作成、「ガテン女子」活動など、どれもやり続けることを目標にコツコツやってきました。そうするとある時、化学反応が起こることがあるのです。



品質保証部 品質保証課主任 服部千晴さん

代表取締役社長 加藤聡人さん

安藤さん…結婚して、出産・子育てと仕事を両立する際にも不安なく働きやすい職場です。
野村さん…何でも言えて、困ったことを相談できる風通しの良さですね。
服部さん…やりたい気持ちを実現できるサポート体制があるやりがいのある会社です。

Q これから就職を考えている方に伝えたい御社の魅力は?

服部さん…今は部門の仕事の幅を広げる取組をしています。声をかけてもらってこの環境にいる、ということはチャンスだと思っています。幅広い知識やスキル、考え方を学んでスキルアップしていきたいです。

Q 今後チャレンジしてみたいことはありますか?